



2019～2020

# 津南ロータリークラブ週報

第2630地区 ROTARY CLUB OF TSU-SOUTH

例会日/毎火曜日

例会場/都シティ津 津市大門7-15

事務所/津市大門10-7

ピッチャーズビル2階

TEL 225-2373 FAX 213-6175

会長/今野信太郎

幹事/樋口直人

E-mail: src.tsu@dream.ocn.ne.jp

ホームページ: http://tsu-minami-rc.com/



## 第2589回例会 2019年12月10日(火) 天候 晴

— 12月は疾病予防と治療月間 —



### 例会予定

- 12月17日(火) 忘年夜間例会  
会長上半期報告
- 12月24日(火) 休会
- 12月31日(火) 特別休会
- 1月5日(日) 新年家族例会11:30~

### 進行担当 [澤田副SAA]

国歌斉唱    ロータリーソング    我等の生業

### 出席報告 [羽根委員長]

12月10日 出席率 46名中 37名 80.43%  
 11月26日 修正出席率 46名中 42名 91.30%

### 委員会報告

- 年次報告書訂正の件 [飯田直前幹事]
- 《職業奉仕委員会》 [吉村委員長]
- 職場訪問例会のご案内

#### 年次総会報告

- 2020~2021年度理事役員 承認

#### 次年度臨時理事会報告

- 2020~2021年度理事役員担当の件 承認

#### 12月定例理事会報告

- ボッチャ大会実行委員会設置の件 承認
- ガバナーノミネー候補推薦の件 承認
- 三重とこわか国体の件 承認

日本赤十字  
三重県支部より  
感謝状



### 会長報告 [今野会長]

- ◆ 本日は、鋤柄会員の卓話です。後程、よろしくお願い申し上げます。
- ◆ 本日は、例会の開始と終了の点鐘についてです。例会の「儀式」のひとつとして会長が点鐘を鳴らします。点鐘で始まり点鐘で終わる、これは例会だけではありません。地区大会、地区協議会、IM等ロータリーの会合はすべて同じです。結論からいうと、この点鐘、いつ頃から始まったのかは、不明です。いずれにせよ、開会閉会を鐘で告げるのは日本だけのようです。一説によると1920年ころ東京クラブが使ったのが始まりで、あとは「右にならえ」になったのではないかとされています。

### 幹事報告 [樋口幹事]

- ★ 本日、例会終了後、年次総会開催の件
- ★ 年次総会終了後、次年度理事会開催の件
- ★ 次年度理事会終了後、5Fエレベーター前 定例理事会開催の件
- ★ 12月17日(火) 18:30~ 忘年夜間例会開催の件
- ★ 1月28日(火) 職場訪問例会の件
- ★ 日本赤十字三重県支部より感謝状の件
- ★ ロータリー財団学友会による2020新春コンサートの件
- ★ 例会変更4件

### ニコBOX [清野委員]

- 今野信太郎君 ・鋤柄会員、本日の卓話よろしくお願い致します。  
・先日は南友会及び有志忘年会に御参加頂きました皆様お疲れ様でした。小生所用があり、出席が叶わず誠に申し訳ありませんでした。お詫び申し上げます。
- 樋口直人君 本日は会員卓話です。鋤柄憲一会員よろしくお願い致します。
- 中尾哲也君 先日の南友会、準優勝でしたが長谷川電器さんの良い商品頂きました。有難うございました。

村木 正二君 鋤柄さん、卓話御苦勞様です！  
 川喜田 久君 早退失礼いたします。  
 伊藤 孝行君 ・久しぶりの南友会に参加し、賞を  
 いただくことになり感謝して。  
 ・12月最後の会員卓話、鋤柄ニュー会員よろしく。  
 日比 隆幸君 ・本年もかさねがさねのご利用あり  
 がとうございました。益々の津南RCのご発展をお  
 祈りしております。(はま作・女将より)  
 ・お休みが続き、本年も皆様に大変ご迷惑をおかけ  
 いたしました事、心よりお詫び申し上げます。

鋤柄憲一会員の卓話楽しみにしています。  
 西井健之君、澤田勝志君、栗田 明君、山本哲司君  
 日比隆幸君、樋口直人君、千原一典君、何川 高君  
 山口浩司君、奥田邦雄君、竹内敏明君、羽根昌江君  
 林 裕行君、中尾哲也君、旭 晋君、今西孝彰君  
 佐々木喬君、吹戸研一君、伊藤歳恭君、伊藤 仁君  
 鈴木康義君、岡部宏司君、吉村哲夫君、大熊将弘君  
 細山田誠二君

## 南友会ゴルフコンペ&有志忘年会

12月8日(日) 於：鈴鹿カンツリークラブ

優勝 伊藤孝行 6位 大熊将弘 10位 松田英明  
 2位 中尾哲也 7位 西井健之 BB賞 岡部宏司  
 3位 竹内敏明 当日賞 村木正二 当月賞 吉村哲夫  
 4位 千原一典 9位 何川 高 BM 林 裕行  
 5位 長谷川顕一

### ニアピン

No.3 中尾哲也  
 No.7 長谷川顕一  
 No.13 千原一典  
 No.17 竹内敏明

### ドラゴン

No.6 大熊将弘  
 No.14 竹内敏明



## 会員卓話

### (株)近畿日本ツーリスト中部とは

鋤柄 憲一 会員

氏 名：鋤柄 憲一 (すきから けんいち)  
 生年月日：昭和41年2月18日  
 出身：愛知県岡崎市 現在は津市一身田中野にて居住  
 趣味：野外活動(小・中・高・大学とボーイスカウト活  
 動に従事⇒現在は行っておりません)

当社(近畿日本ツーリスト株式会社/現在は株式会社近畿日  
 本ツーリスト中部)での略歴

平成元年4月入社、岡崎支店へ配属。岡崎支店に16年半  
 セールスパークソンとして勤務(法人・企業)。その後、中部営  
 業本部(名古屋)課長、浜松支店次長として勤務。浜松支  
 店後、高山(2年3ヶ月)、富山(2年9ヶ月)、福井(1  
 年3ヶ月)、岡崎(3年)の支店長として勤務、現在に至る  
 (津支店は2019年4月に赴任)。

#### 主な業務歴

法人・企業・自治体担当

岡崎支店⇒平成4年バルセロナオリンピックチーム 観戦ツアー  
 200名×2班 大赤字で大変な思いをした。(岩崎恭子、古  
 賀稔彦メダル、有森裕子銀メダル)

郵政チーム⇒韓国500名、中国500名、ハワイ800名、オースト  
 ラリア400名、北米300名

韓国・中国⇒桜苗木植樹ツアー(慶州、上海・蘇州)

オーストラリア⇒コアラ基金(ユカリの苗木を植樹)

名古屋⇒某企業の周年事業でハワイツアー1,000名取扱  
 約50名×20班(ソニーオープンの開催近くであるカハラ地区  
 で別荘を貸切しきよならパーティー)

高山⇒冬季国体(スキー)の取扱(約1,800名×3泊) 当社始  
 まって以来の冬季国体のスキー競技の取扱(4名にて取扱)

富山⇒全国高等学校総合文化祭輸送業務の取扱(富山への  
 来県約21,000名)

開会式では秋篠宮殿下妃殿下、佳子内親王殿下一段、後  
 りの席に座る。佳子様の可愛らしかったことを思い出す  
 富山県経済ミッション(石井富山県知事の同行)

インド・バンコク、インドネシア インドでは現地事情で  
 大変な目に合う

福井⇒福井県ふるさと割(ふるさと旅行券)委託業務の取扱  
 DINOALIVE開催(シルバーウィーク 約10,000名集客) 後  
 ほど、動画参照 今年プレミアム商品券(内閣府)

津⇒東京2020オリンピックの三重県聖火リレー委託業務を受  
 注(2020年4月8~9日)

#### 過去の所属ロータリークラブ

福井北ロータリークラブ、岡崎南ロータリークラブに所属。  
 「DINO-A-LIVE」⇒世界一受けたい授業、ナカイの窓、世  
 界まる見え等、でも放映

「恐竜型メカニカルスーツ」をもって実現した、世界初のリ  
 アル恐竜体験プロジェクト「恐竜との生きた出会い」を実現

近畿日本ツーリスト株式会社1955年創立  
 現在はKNT-CTホールディング株式会社(2013年持株会社  
 東証第一部上場)

グループ社員数：約7,000名

売上高411,821百万円 営業利益2,532百万円 経常利益2,834  
 百万円(平成31年3月期の連結業績)

国内旅行会社15社(クラブツーリズム) 海外旅行会社9社、  
 介護事業1社、宇宙旅行事業1社、商事・保険1社、労働  
 派遣業務・業務委託1社、アシスタンス業務1社、イベント  
 & コンベンション企画1社、再保険引受業務2社、情報処理  
 1社 グループ会社33社

東京2020オリンピックパラリンピックオフィシャルパートナ  
 カテゴリー：旅行業務およびナショナルトリップホスピタリテ  
 サービス

#### 弊社の紹介(媒体)

●城山三郎氏著作「臨3311に乗れ」

近畿日本ツーリスト創業者故馬場勇社長について書かれた本  
 で、潰れそうになりながらも、死ぬ思いで問題を解決し、大き  
 くなっていく物語です。臨3311とは修学旅行のために貸し切った  
 臨時列車の番号です。近ツリの創業者と言っても、近畿日本鉄  
 道系と合併する前は独立独歩の旅行会社に過ぎず、いわゆる  
 「まち」の小さな旅行会社です。その小さな会社が何度も潰れそ  
 うになりながらも、馬場社長とまわりのスタッフの命を懸けた行  
 動で少しずつ大きくなっていきます。初めて受注した修学旅行  
 の苦勞、名もない会社が国鉄の列車を貸し切る苦勞、馬場社長  
 を後押しした熱海の旅館。馬場社長に怒鳴られながらも育った  
 社員、応援してくれた旅館や交通機関、日本ツーリストはみん  
 なの信用に支えられていました。馬場社長は合併後、亡くなる  
 のですが、その時の言葉は涙無しでは読めませんでした。弊社の  
 企業理念が似ているのは、馬場社長の力をどこかで引き継ぎたい  
 と思っているのかもしれない。(ツアーオンライン(株)からの抜粋)

●YouTube「夢の軌跡」

全社会議用に制作した「60年」のあゆみ映像版

●まつりインハワイ(Pan Pacific Festival まつりインハワイ)  
 第40回 2019年6月7日(金)~9日(日)

環太平洋諸国の文化を取り上げ、分かち合うことによって、  
 異文化間の友好、理解を促進することを目的。様々な文化・価  
 値観その特性や歴史の認知を高めることにより、世界平和、国  
 際友好に貢献するもの。毎年全国各地から約2,000名、延べに  
 して約11万人の方々が参加するハワイ州の公認イベントとなり、日  
 本に限らずハワイ、スペイン、韓国、アメリカ、ポリネシア、中国  
 やその他の国の踊り、芸術、音楽、食事、慣習を分かち合う場。

最終日：ハワイホノルルのメインストリートを通行止めにし  
 て、パンパシフィック・まつりパレードを行っております。

●ジャパンベトナムフェスティバル

第6回 2019年1月19日(土)~20日(日)

ベトナム最大の日越交流イベント「第6回ジャパンベトナム  
 フェスティバル」をホーチミン市の9月23日公園で開催し、  
 過去最高の329,000人の来場者でにぎわう。「手とてをとって」  
 の合言葉のもとで、ステージや各ブースは熱気にあふれ大盛況  
 のうちに終了。6回目の開催となった今回は、日本とベトナム  
 の共同開催イベントとして両国の官民が一体となり、日越  
 相互に伝統・文化を理解し、観光・物産・先端技術の紹介や  
 スポーツ分野・教育分野での交流などを通して両国の関係を  
 さらに強めるイベントになった。

主催：JVF実行委員会

日本側実行委員長 武部 勤(日越友好議員連盟特別顧問)

ベトナム側実行委員長 トー・フイ・ルア(越日友好協会会長)